

No. 8	平成 29 年度 「地域子育て活動支援事業」 実施の内容
団 体 名	特定非営利活動法人 キッツキネットワーク岩手
事 業 名	子どもにとっての正しい食生活を考える事業
実 施 期 間	平成 29 年 9 月 1 日～平成 29 年 11 月 30 日
事 業 実 績	食に関するフォーラムの開催 日時：平成 29 年 11 月 5 日（日） 場所：イーナ 7 階 小田島組☆ホール 第 1 部 基調講演「子供と大人の心と身体を変えた食事～長野県真田町の取り組み～」 講師：大塚 貢 氏（教育・食育アドバイザー） 第 2 部 シンポジウム「健康寿命を伸ばす食生活」 コーディネーター IBC アナウンス学院長 河辺 邦博 氏 シンポジスト ㈱清心丹 代表取締役社長 薬剤師 高木 紀子 氏 岩手県有機農業連絡協議会 事務局長 日野 雄策 氏 生活クラブ組合員 主婦 中山 恵子 氏 来場者 約 200 名
実 施 効 果 自 己 評 価	（実施効果） 講演内容が特に子供の食に関わる内容であり、食によって身体も心も変わり、子供の成長に大きな影響を与えることが強調されていた。子どもの中には学業に集中できなかったり、落ち着きが無く、すぐ切れたりイライラしたりする子がおり、その食生活は朝食抜きやインスタント食品中心となっていることが調査結果に表れており、また、若年者の認知症が増加していることも食生活から来ているとの指摘は衝撃であった。そのため、特別支援学校も全国的に増加しているとのことである。 食が成長期に脳や身体に及ぼしている影響が大きく、改善の必要性を述べられ、特に学校給食の重要性が強調された。給食の内容を改善したことで数カ月後には大きな効果が表れた事例が紹介され、実際の効果に衝撃を受けた。 子を持つ親や参加者にとって、大変勉強になり、また、参加者に管理栄養士・栄養士等いたことも大きな事業効果と考えている。 （自己評価） 講演とシンポジウムの二部構成で効果的に実施できた。 特に大塚先生の講演は、子供たちの毎日の食が、脳や体全体に及ぼす影響の重要性を知ることが出来、食の大切さを考える良い機会となった。 参加者アンケートに「内容が深い素晴らしい講演とシンポジウムであり、沢山の事を学ぶことが出来、感動した」との声をいただいた。 食が将来を担う子供たちにとって大きな影響を与えることから、今後行政にも食の重要性をもっと認識し取り組んで欲しいとの先生からの言葉もあり、色々なことに示唆を与えてくれた事業であったと評価します。